

2022年度 一般社団法人那覇青年会議所	
人財拡大委員会 上原 啓渡	
現 状 分 析	<p>沖縄県の県庁所在地を有する那覇市。まさに沖縄県の中心地といっても過言ではない那覇市にある私たち那覇青年会議所の役割は今までもこれからも重大であるといえます。歴史の中でも那覇市だけに留まらず県全体のために偉大なる先輩方がJC運動を続けてきました。今後もその役割は変わらず、那覇青年会議所の活動は誇り高い意志を引き継いでより活発になるべきだと考えています。そのためにはやはり数のパワーは必要だと考えておりますが、会員数は全盛期に比べると約50名も少ないというのが現状です。存続に対する危機感から近年では現役会員全員による全員拡大の意識を高め県内でも稀にみる会員数の拡大に成功しました。しかしながら全盛期の数には及ばず、また、人財拡大という事業において終わりはないものと考えています。今年も卒業される先輩方が多くいる中で、よりよい那覇青年会議所を維持するためにも更なる会員数の拡大が必要だと考えています。</p>
目指すべき状態	<p>現役会員の途中退会者を出すことなく安定的な組織の運営が必要不可欠だと考え、そのためには対外だけではなく対内にも目を向け現役会員が那覇青年会議所に参画して良かったと思える環境を作り、会員自らが人財拡大への意識を高め全員で人財拡大に取り組んでいきたいです。対外には那覇青年会議所を様々なJC活動を通して知って貰い興味を持って貰う必要があると考えます。やはり対外からの新規会員拡大は必須であり、前年度の全員拡大委員会の活動も引き継いでいき、年度初めである1月の入会者15名、年度内には40名を必達したいです。またSDGsにもあるジェンダー平等をこの那覇青年会議所から広めるべく、女性会員の拡大にも積極的に取り組んでいきます。</p>
連携概要	<p>那覇青年会議所を沖縄県民、那覇市民に幅広く周知、拡散していきます。広報委員会を始めとする他委員会とも協力し、Webやメディア、JC活動によって県民、市民に周知し認知度を高め、入会希望者の拡大に努めます。現役会員及びOBの方々にも積極的に紹介依頼を行います。</p>
	SDGsのゴールとターゲット番号
5	ジェンダーの平等を実現し、女性が参加しやすい組織造りに貢献します。

SDGs	16	沖縄県戦後復帰50年という記念すべき年になる2022年。今後も更なる平和と公正を目指すべく那覇青年会議所が対外に発信していき、青年会議所の存在を対外に広くアピールします。
	17	高い志をもつ那覇青年会議所の同志と協力、連携し、地域貢献活動に努め、JC活動を通して一人一人が成長できる場にします。
運動手法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対内を知ることがまずは先決だと考え、現役会員一人一人と面談を行い、それぞれの仕事を知ることにも努め、紹介依頼を行う。また、コロナの状況を見ながら対内向けのバーベキューを人財育成委員会と共同で夏の間で開催し、会員同士の交流を図る。</li> <li>・対外へのアピールとして那覇青年会議所には様々な業種の志の高いメンバーがいることをJC活動を通して知って貰う。</li> <li>・昨年に引き続きJC名刺に『必達40名！会員拡大担当』と記載し会員たちにも意識して貰い、対外へも視覚でアピールをします。</li> <li>・新入会員候補者リスト作成を行い、その中でも現役紹介リスト、OBアタックリスト、一般企業アタックリストを作成し、アタック結果から分析、検証を行います。</li> <li>・新入会員認証式を運営します。</li> <li>・月に一度の定例会の際に、拡大の現状報告を行い理事役員及び会員全体へ拡大に対する意識を高めてもらう。</li> <li>・3カ月に一度（3月、6月、9月）、広報委員会と共に対外向けに那覇青年会議所を知って貰うための無料セミナーを開催し、那覇青年会議所の歴史や活動、現会員を知って貰うことで参加者に興味を抱いてもらい、人財拡大に繋げていく。</li> </ul>
カウンター パートナー		那覇青年会議所会員、那覇青年会議所OB、一般企業、日本青年会議所拡大担当委員会、沖縄ブロック協議会、那覇青年会議所青年部、中小企業家同友会